

「野田中学校の棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

出水市立野田中学校

2 学年・人数

全学年・男子 47 人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

- 6月19日(月)～9月9日(土)は、週2回程度昼休みに体育館等で練習
- 9月12日(火)～11月2日(木)は、週1回程度昼休みに体育館等で練習
- 6月26日(月)6校時、青年団との合同練習を体育館で実施(2年生男子)
- 7月21日(金)午後6時から、8月2日の発表に向けて青年団と体育館でリハーサル(2年生男子)
- 8月1日(火)午前10時～午前11時、8月2日の発表に向けて体育館でリハーサル(2年生男子)
- 8月21日(月)午前10時～11時、9月10日の体育大会に向け校庭で練習
- 9月1日(金)～9月9日(土)体育大会に向け野田運動場で2時間ずつ練習
- 10月31日(火)11月5日の野田郷運動会に向け放課後校庭で練習
- 11月1日(水)青年団との合同練習を6校時に校庭で実施

(2) 発表の日時・場所

- 8月2日(水)「いずみ宝子『命』のサミット」のオープニングにて、2年生男子と野田郷青年団が発表
- 9月10日(日)野田中体育大会で全校男子生徒が発表
- 11月5日(日)野田郷運動会で全校男子生徒と野田郷青年団が発表

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能・伝統行事について

(1) 名称

棒踊り(ぼうおどり)

(2) 由来

島津藩主か、またはその1人である島津義弘が武芸として広めたものであるという俗説があるようだ。しかし、棒踊りの形態を見ると、その本質と源流は武芸ではなく、農耕儀礼に起源を持った唄と踊りにあるようだ。

(3) 構成等

棒踊りの特徴は主に3つある。1つ目は衣装である。かすりの着物をはしょって、色たすきを後ろに長く垂らして、手甲、脚絆、鉢巻き姿である。2つ目は道具である。刀に見立てた3尺棒となぎなたに見立てた六尺棒を使う。3つ目は唄で、豊作を願って歌う。

5 保存会や地域との連携の具体

年度始めに、学校の担当教諭から野田地区の青年団長に指導の依頼をし、毎年指導してくださる。

1学期に青年団の指導日が決定する。指導日の1週間ほど前から練習を始める。基本的には、3年生や2年生が1年生を指導する形態である。1年生は、指導日までに通

りの動きを覚えておく。

青年団は、1学期中に生徒たちに細かいところまでの動きを確認させる。今年度は、例年に比べ発表の機会が多く何回も打合せをしたが、例年は、1学期は7月頃に1回、2学期は9月に1回、11月に1回の打合せで行うことが多い。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- (1) 唄を歌える人が減少している中、野田小学校のPTA副会長（元青年団員）が唄を歌えると聞いたので、お願いをして生歌で発表をした。
- (2) 六尺棒と三尺棒は、以前は個人で購入をしていたようだが、現在は学校で購入している。
- (3) 青年団が指導できる日は限られているので、青年団に教えてほしい動きを前もって絞り込むことと、上級生が下級生に教える場面を多く設け、1年生でも青年団が指導して下さる頃には、ある程度踊れるようになっている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【サミット会場でのリハーサル】



【サミットオープニング本番】



【体育大会は生徒だけの発表】



【野田郷運動会での発表】

8 参加生徒・保存会・教員等の感想・意見

- この練習会を通して、生徒の皆さんから逆に元気もらっています。ここでの経験が青年団大会での活躍につながり、全国大会に行くことができました。これからも指導をしていきたいです（青年団）。
- 最初は動きが分かりづらかったけれど、先輩や青年団の方々が丁寧に教えてくれてできるようになりました。発表の時は無我夢中で、失敗もあったかもしれないけど楽しくできたのでよかったです（生徒）。
- 3年生が1年生に教える姿を見て、「さすが先輩だ」と感心させられました。日頃から見ている生徒に比べて、凛々しくなったような気がしました（教員）。